

原作が解き明かす映画の謎 — 『予告された殺人の記録』を読む

2010.7.29

東京大学大学院教授 野谷文昭

1. 静けさと清潔感 オールロケ、消毒、吹き替え
2. 重心の不在 「私」は誰か、母親、家
娼家という神殿、女王、マリア・アレハンドリーナ・セルバンテス
強い母親、父親不在
3. カーニバルの不在 クンビアとルンバ、踊りの規模
4. 死体の不在 神父による解剖、動物不在（犬、ウサギ）
5. 偶然と予兆、ミステリー
6. 記憶の混乱 天気
7. 移動の不在 瀕死のサンティアゴ、アンヘラの幽閉
8. T型フォードとスポーツカー
9. 夢の表現
10. 淋病なのは誰か：スターシステムとトップモデル
11. 多言語の偏り 英語偏重、アラビア語の不在
12. 多民族 アラブ人コミュニティの不在、鷹狩りの不在 → エピグラフ
13. 軍、ゲリラ、町長
14. 事件の衝撃 精神異常
15. 再会 バヤルドの若さの秘密
16. 重層的儀式：象徴的母殺しと父殺し；宿命の扉とキリスト（NYの舞台）